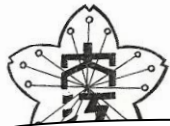


2019 年度学校だより

明日は「幼小中連携の日」。幼稚園や保育園の先生、白川中学校の先生方が5時間目来られます。おもに1年生と6年生の授業を参観されます。



大江の風



1月9日
No. 77

1年生がみんなで「凡事徹底！凡事徹底！」と合唱しながら廊下を歩いていました(笑)。こんな難しい言葉を覚えてくれたんだ。うれしいな～。「危険予測回避能力」もけっこう覚えてくれています。

今日、業間に避難訓練をしました

あんまり寒くなくてよかったです。10時13分。教頭先生がスマホで非常ベルの音を出し、放送で流して（ホンモノの非常ベルを押すと大変なことになるのです。）訓練開始。今回は、逃げる速さを追求するのではなく、避難経路の確認のために行いました。画期的なのは、初めて校舎外の非常階段を使用したことです。今まで1回も訓練で使用してないとのこと。でも実際もし万が一火災が起きたら、本校の校舎は中の階段が少なく、また火元の方向の階段は使えません。665人がどうやって安全に避難するかを考えると、外階段も避難に使っていいのだよと子ども自身に教えることが大事だと思いました。もちろん、毎月階段の安全点検はしていますよ。でも今までの避難訓練では、使用していなかったのです。



2年生もちゃんと口と鼻をハンカチで抑えていました。命を守る行動ができています。すばらしい！！

火元は理科室。そうすると3年生は中の理科室横の階段は使えません。3の3と3の4は外の階段を使って逃げました。本校舎には500人以上が移動するわけですから、1つの階段では相当時間もかかりますし、焦ります。ですので3階の6年生は、外のらせん階段を利用しました。子どもたちにとってはちょっと怖かったかもしれませんが、さすが6年生です。落ち着いて2列で階段を降りることができました。子どもたちは運動場に出ると、避難場所に走り出します。そして整列。人員確認。消火班の先生方は、理科室で初期消火訓練をしました。



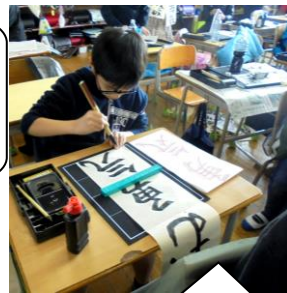
6年生はらせん階段を使って避難。階段は走っては危険です。黙ってかつ落ち着いた行動ができています。

全員集合し、防災担当の地原先生から、避難の基本「おかしも・・・押さない・かけない・しゃべらない・戻らない」を再確認しました。私からは、子どもたちに次のようなことを話しました。「今日は先生とクラスもみんなと一緒に火災が起きました。でもそんな都合のよい時に起きるとは限りません。この学校のどこにいたって安全に逃げるためには、一人一人が「自分でどうにかする力」を使って、考え、正しく判断し、行動しなければなりません。命を守るには「火元と反対の方向へ逃げる。」ことがとても重要です。ではどうやって火元を知りますか？そう、放送をしっかりと聞くこと。放送を聞いていないと正しい判断はできません。」

今日の訓練は、とても真剣で、大変よくできました。素晴らしい態度だったと思います。さすが大江の子どもたちです。

おまけ

今朝は緑門でさわやかなあいさつ運動をしてくださいました。とても気持ちのよいあいさつが、道中に響いていました。



5年生が書初めをしました。「進む勇氣」と力強く書いていました。上手だな～～



後ろの書初めの写真を撮ろうと思ったら陽気な5年生が作品の前によってきました(笑)作品がみえないよ～～。